

平成26年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

事故概要：

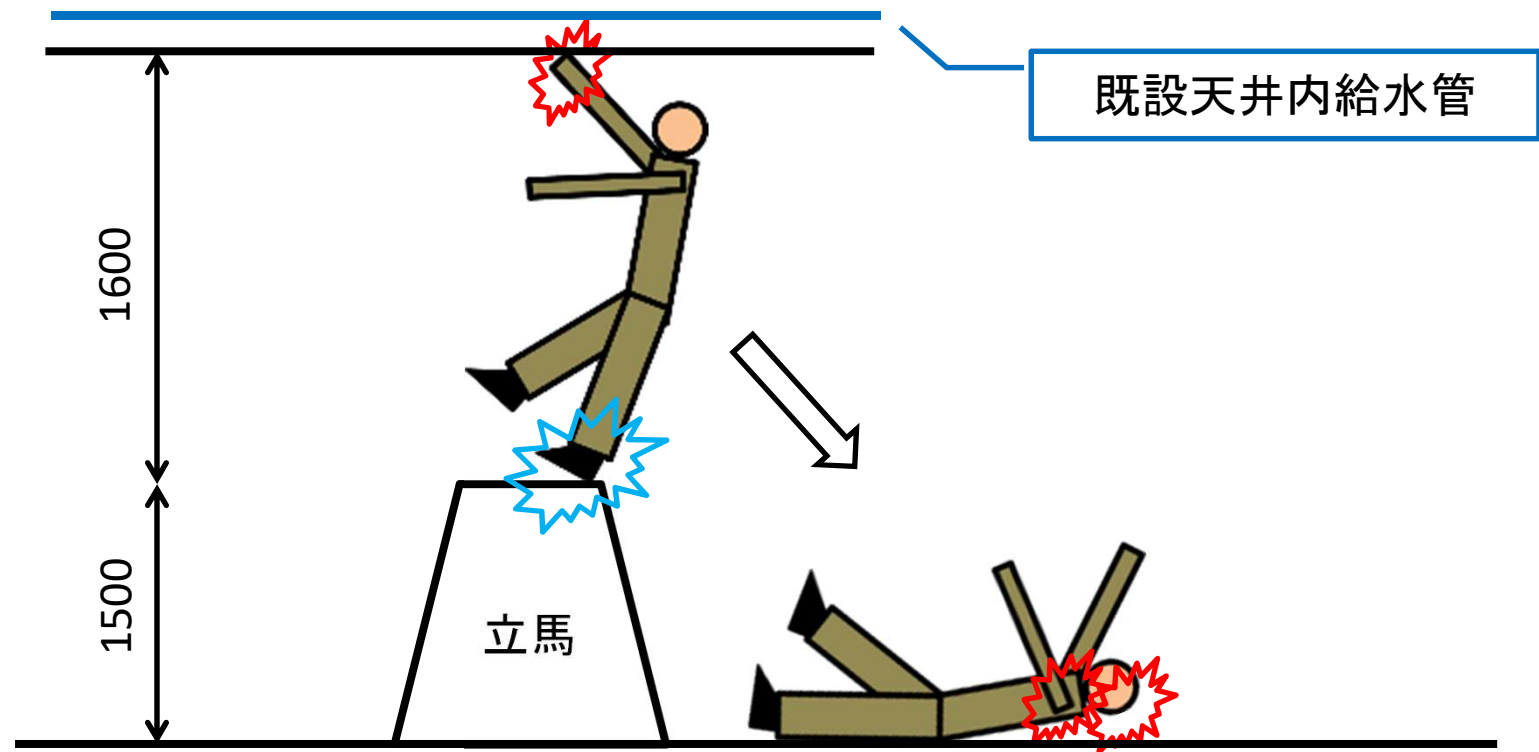
既設室内配管の撤去作業中、足場台（立馬）より足が滑り、転落する際に右手で天井下地材につかまったが落下した。右手を下地材で裂傷し、床面に着地後転倒して左肩を負傷した。

事故原因：

- ・作業員の不注意

改善対策：

- ・安全教育の徹底
- ・立馬は手すり付きのものを使用する



分類：建築、取壊し

被害状況：1週間の加療（頭部打撲、左肩打撲）

平成30年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

【事故概要】

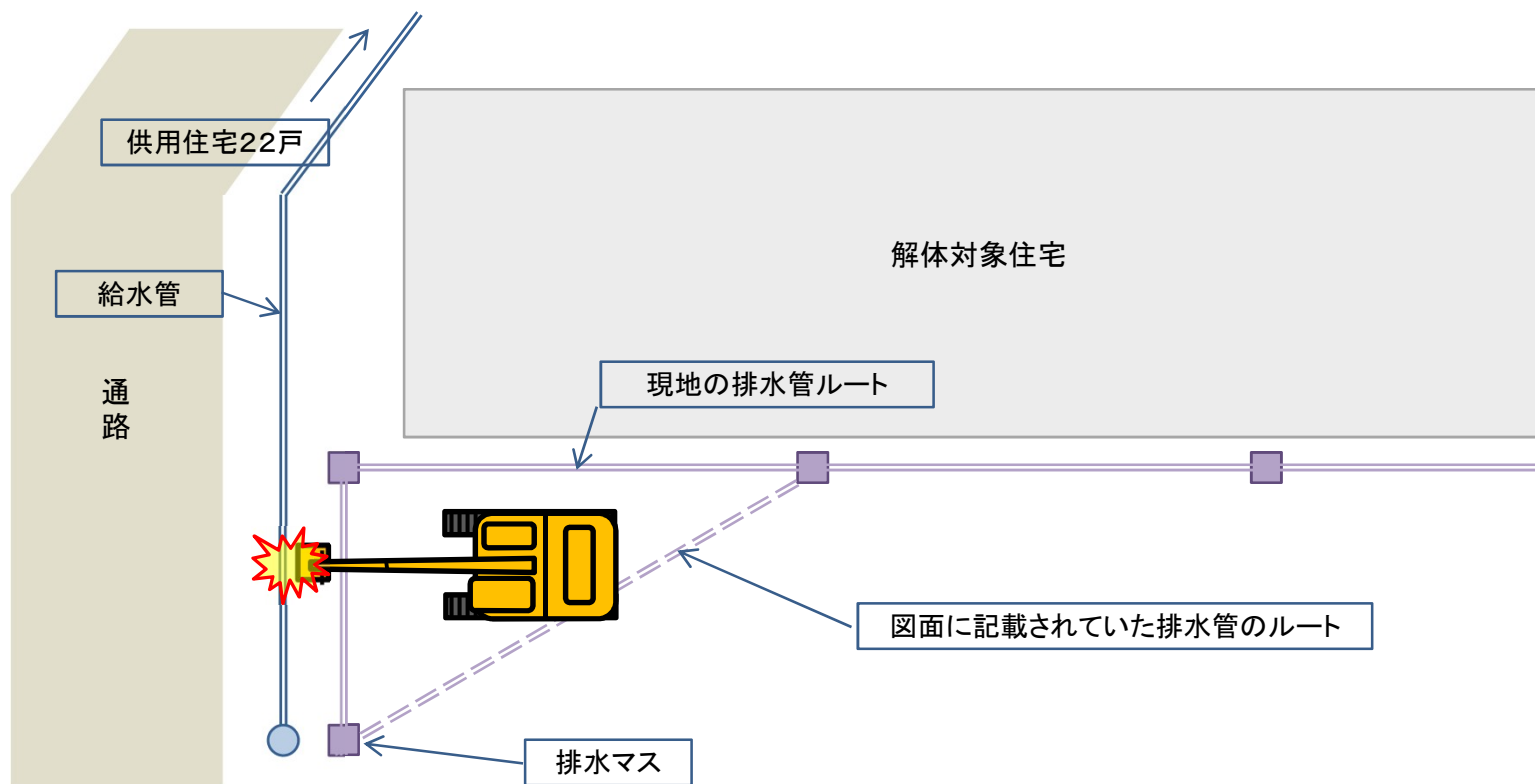
県営住宅の外構解体作業において、排水マス撤去後、建物から排水マスまでの雨水排水管を撤去しはじめたところ、図面と異なるルートに埋設されていたため、埋設管に沿って撤去を開始した。その際、図面に記載のない構造物が見つかり、報告のためバックホウで周囲を試掘していたところ、供用中の給水管を切断した。

【事故原因】

- ・解体する住宅敷地内であり、図面にも供用中の給水管の記載は無かったことから、埋設管は無いものと考えていた
- ・目印の埋設杭、埋設標示テープに気付かなかった

【改善対策】

- ・図面に記載が無い埋設物がある可能性も想定し、通常の安全管理対策に加え、作業員全員で危機管理を再認識する
- ・掘削時に土質の変化等を確認した場合は、手作業に切替えて埋設物の有無を確認しながら作業を進める



【分類】 建築、取壊し

【被害状況】 給水管損傷（断水 住宅入居22戸、2時間20分間）

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材事故）

【事故概要】

建築工事現場にて、床に散乱した研りガラの片付け作業中に、床の穴補修用型枠止めの番線に接触し、左手を負傷したものの。

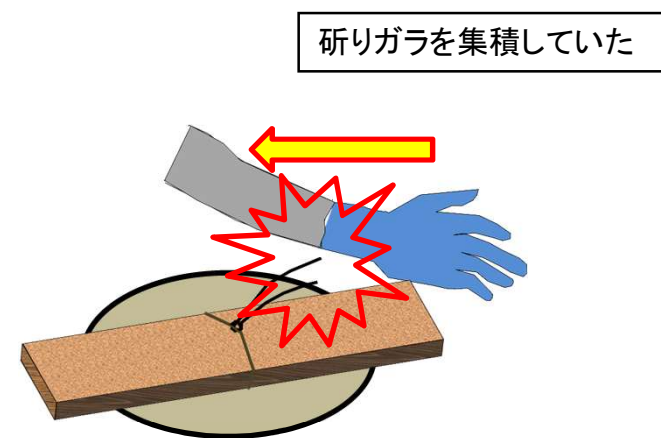
【事故原因】

- ・KYミーティングを行っていたが、番線の先端の安全処理がなされていないことなど、作業現場の危険個所の把握及び対策が十分なされていなかった。
- ・実習期間が1年に満たない外国人技能実習生に対して、安全事項の周知、対策に係る配慮に欠けていた。

【改善対策】

- ・KYミーティングの際は、事前に作業現場の確認を行うなど、全ての作業内容想定しながらおこりうる災害をより細かく確認するとともに、作業者全員、技能実習生に確実に安全事項を周知伝達する。
- ・技能実習生に対しては、作業場現地にて、スマホの翻訳アプリの使用や、身振り手振り等を交え確実に周知することを徹底し、作業内容が変わる都度周知する。
- ・不安全箇所、不安全行動を発見したら、直ちに作業を中止させ不安全箇所の改善、作業内容の見直し等を行う。

事故状況現場写真



【分類】 建築、取壊し

【被害状況】 業者人身 男 1人(技能実習生) 左手関節切創(安静加療2週間)